

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度からの PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続きご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞ登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています（※ KEK の共同利用者支援システムでユーザー登録をされた皆様には、PF メルマガが配信され、そちらにも PF News 発行のお知らせが載りますので、その方はお知らせメールの登録は必要ありません）。

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞ投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光科学研究施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-864-5196 FAX : 029-864-3202
E-mail : pf-news@pfqst.kek.jp
URL : <http://pfwww.kek.jp/publications/pfnews/>

編集後記

「PF 滞在記」に書かれた学生の声を読んでいると、自分が学生の頃のビームタイムが思い起こされる。「PF 滞在記」は、万人が読みやすい“やわらかい記事”の新設を目指し、私が編集委員会に加わった年から新たにスタートした記事だ。当初は「隣のビームラインでどんな実験をしているのか知る機会を作りたい」「専門外の実験でも簡単に読めるような内容を」という指針だったが、最終的には編集委員の身近な院生や、T 型課題の実験責任者の学生に書いてもらうことになった。初めて PF に来たのは今から 10 年ほど前、立教大学の枝元一之教授の研究室の卒研生として、光電子分光の実験だった。卒業後、現在の所属でもある東京理科大学の中井泉教授の研究室に入ってから、蛍光 X 線分析や X 線吸収微細構造分析の実験で数えきれないほど PF を訪れた。いつどんなデータが得られたのかはノートを見返さないと思い出せないが、KEK 内で道に迷ったとか、談話室で誰とどんな雑談をしたとか、実験以外の記憶は不思議と鮮明に残っているものだ。そんな「実験じゃない時間」を他のユーザーがどのように過ごしているのかも、この記事から垣間見えるように思う。KEK 内に「風来夢」ができてからは、ビームタイム中に施設外まで食事に行くことがめっきり少なくなったが、そのうち「PF 滞在記」でおすすめされたラーメン屋まで足を延ばしてみよう (Y.A.)。

平成 29 年度 PF ニュース編集委員

委員長	野澤 俊介	物質構造科学研究所		
副委員長	阿部 善也	東京理科大学理学部第一部		
委員	足立 純一	物質構造科学研究所	阿達 正浩	加速器研究施設
	上村 洋平	分子科学研究所	宇佐美德子	物質構造科学研究所
	大川万里生	東京理科大学理学部	川崎 政人	物質構造科学研究所
	田中 宏和	物質構造科学研究所	土井 教史	新日鐵住金(株)先端技術研究所
	丹羽 健	名古屋大学大学院工学研究科	兵藤 一行	物質構造科学研究所
	前川 雅樹	量子科学技術研究開発機構	水谷 健二	横浜市立大学生命医科学研究科
	簗原 誠人	物質構造科学研究所	三輪 洋平	岐阜大学工学部
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所		